
ピアニストの恋

椎名雪華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピアノリストの恋

【コード】

N1864C

【作者名】

椎名雪華

【あらすじ】

ピアノリストの、不憫な恋。なんだか色々と、電波みたいです。

ああ、ピアノ。
僕は、君に成りたい。

触れれば、綺麗な声で歌う。其れが、どんなに低い音でも、どんなに高い音でも。

決して掠れたりはず、強く、それでいてしなやかな歌声。

そんな君の歌声が、……否、そんな君が、僕は、狂おしいほどに愛しいのです。

び、あ、の。

どうやって、呼ぼうか。君の名前を。

なるべく、優しく呼ぼうか。それとも、激しい愛に任せて、大声で呼んでみようか。

ああ、ピアノ！ 君のことが……、

そうして、今日も君に触れる。

黒と白で飾られた衣装。

是ほどまでにシンプルで、其れでいて美しい衣服を、僕は見たことが無い。

余計な飾りなど要らぬ、と格好付けているわけでもなし、私などに派手なものは似合いません、と謙遜けんそんしているわけでもなし。

其れが、彼女なのだ。ああ、本当の個性とは、このようなものか。このようでは無いだろうか。

彼女こそ、世界で一番の美。

強く触れれば、強い音。弱く触れれば、弱い音。

其れ相応の返事をしてくれる。優しい君。

君ほど、平等な存在が、此の世に存在するであろうか。

ああ、人間が全て、君のようだったら……！

君。

僕は、永遠の愛を誓う気だつてある。

分かりきっているのだ。僕が、君に成れないことなど。

其れなら、君に一番近い存在で居たい。

ああ、せめて一緒に死ぬことが出来たら。けれど、君は、一緒に生きることにしか許しては呉れない。

僕が死んでも、君は生き永らえる。

そして、僕以外の奴の指で、メロディを奏でてしまう。

ああ、ピアノ。

僕は、君に………、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1864c/>

ピアニストの恋

2011年1月13日14時45分発行